

瀬戸内海の訪問理美容

# べっぴんしゃん

島に  
キレイと元気を  
お届けします。



# 島にキレイと元気をお届けします。

私たちは、「訪問理美容でキレイと元気を届けたい！」をテーマに、中山間地域や瀬戸内海の離島などの過疎地域への訪問理美容の活動に取り組んでいます。

また、活動に参加してくれる理美容師のスキルアップを図るための訪問理美容講習会の開催など、理美容室では習得できない実践的学習による人材育成を行っています。



## 目次

代表インタビュー	6
べっぴんちゃんとは？	8
べっぴんちゃんの、ある一日	9
地域住民の声	12
理美容師の声	13
社会の声	14
訪問理美容講習会	16
べっぴんちゃんの仲間になるには？	18
組織情報	19

## 訪問理美容活動には、 高齢者の心身を健やかに保ち、 地域社会を元気にする可能性がある。

NPO法人 訪問理美容ネットワークゆうゆう

に し お か み つ ぐ  
理事長 **西岡 貢** インタビュー

### — 訪問理美容の活動を始めるようになったきっかけを教えてください。

母が認知症のため福祉施設で生活をするようになり、美容師の妻と定期的に見舞いに行く中で、妻が「お母さんここで髪切ろうか？」と母に美容をするようになりました。母もうれしそうに椅子に座ってご機嫌でした。髪を切ってから口紅を差し、妻が「お母さんべっぴんちゃんになったよ！」と言うと、母は嬉しそうに笑っていました。美容を行う母が次第に元気になっていく様子に驚いた施設長さんから、施設の他の皆さんの美容もして頂けないだろうかかと相談があり、それからは定期的に訪問して多くの入所者の皆さんの髪を切って喜んで頂きました。

理美容行為は髪を切るという事を通して対話が始められます。生まれ故郷はどこですか？と追憶の会話や健康の事まで、幅広く話が進み、次第に髪が整えられていく中で、少しずつ姿勢や目の輝きが変わっていくように感じられます。女性にとっての美容行為は衛生面や容姿の美しさだけでなく、心の淡麗まで深くかわり、希望を与えているのだと感じるようになりました。これからの時代には、医療や看護に次いで、訪問理美容が必要とされるようになって考えていますが、多様化する高齢化社会のニーズにどのように応えていくかが大事だと思います。

### — 活動を始めるにあたって苦労した点はどこですか？

一番は訪問理美容をやってくれる人材の確保です。スタッフを募集しても中々応募が無かったことや、折角

応募して頂いても希望する収入が得られなかったり、活動場所が普通の理美容室とは違って設備の無い場所での活動であったりするために、去って行った理美容師も多くいました。

また、利用者の募集に関しては、当時は理美容師の訪問そのものに対する理解が無かったために苦労しました。人材の確保と活動先のエリアの拡大は現在も課題ですが、どこで暮らしていても、母のようにいつまでも女性は女性らしく美容師の施術で綺麗になって頂きたいと活動を続けています。

### — 現在の活動の内容を教えてください。

地域に理容室や美容室が無い、中山間過疎地域である高知県馬路村や北川村への定期的な訪問理美容活動を開始して、現在は高知県下の福祉施設の訪問や在宅訪問理美容、そして香川県や岡山県の瀬戸内海の離島への訪問理美容活動に近隣地域の美容師さん達と取り組んでいます。また、訪問理美容活動を行う理美容師の為にスキルアップ講習として、在宅での施術や車椅子でのカット、そして寝たきりの方のカットなどを学べる「訪問理美容講習会」を開催し、地域の要望に応えるため、通常の理美容室では習得できない実践的な学習を通じて、訪問理美容活動を志す理美容師の育成を行っています。

### — 訪問理美容を利用する人はどんな方々でしょうか？

訪問理美容を希望する方の多くは、介護を要する身体の不自由な方や、理美容室の無い地域の高齢者の方です。理美容室の無い地域にお住まいのご婦人の方々は、バスや船で近隣の町の美容室に行かれています。常には帰りのフェリーの時間が気になってしまふと言います。また交通の便が少なく、往復の交通費や身体的な負担が大きいため、つい美容室に行きそびれてしまうと言う人もいました。このような過疎地域でも、街と同じようなサービスを受けられるように、地域の公民館や公共施設をお借りして定期的な訪問理美容を行っています。

### — 今一緒に活動している人達はどんな方々ですか？

子育て中の美容師が圧倒的に多いです。曜日や時間制限の無い活動が気に入っているようです。自宅から現場に直行して頂き、できる限り時間のロスを無くすなど、無理のない稼働体制を相談して作っています。技術を持っている美容師の方々も、様々な課題を抱えています。例えば、保育園に通園中の子供を持つ親は、美容室の忙しい土曜日曜は勤めが出来ませんし、子育てのために長年勤務した美容室を退職しても中々再就職先がありません。今私たちの活動に参加して訪問理美容をしている美容師さんは、「地域の為に自分の持っている美容技術で喜んで貰える事がうれしい」と言ってくれています。

また、地域側で予約の取りまとめや会場の確保など、受入れのコーディネートをしてくださる地域のリーダーの方々も大切なパートナーです。そういう方が地域に一人でもいると、私たちもスムーズに活動できますし、何より多くの方々に利用してもらいやすくなります。

### — 訪問理美容の活動を通して、どんな社会を実現させたいですか？

「訪問理美容でキレイと元気を届けたい！」をテーマにこれまで13年間、中山間過疎地域や離島の訪問活動をしてきました。お蔭様で多くの方の応援を頂き、ここまで来ることが出来たことに感謝しています。この活動を開始した時は丁度少子高齢化が始まる時代でした。また、阪神や東北の大震災を受けて社会の意

識が大きく変わり、ボランティア活動に参加する若者が増えて、社会がそれを温かく受け入れていく環境が育成されてきました。敬愛する師匠からは「人のために火をともしば我がまえ明らかなるがごとし」と言われていますが、これからの時代は益々ボランティア活動やNPO活動が社会の一部を支えていく時代になって、活動している人達を社会が守る「地域貢献社会システム」が地域行政と共に構築されていくように思います。自分自身の出来る事をお互いに地域に提供して、これまでは行政や自治体に任せていた事を自分たちがネットワークを作り、地域課題として解決していく必要性が増してくるのではないのでしょうか。瀬戸内海では人の住んでいる離島は152あると言われていますが、ここに訪問理美容活動だけではなく、地域で活動される住民の方々と一緒に、瀬戸内ネットワークを構築し、このような地域貢献社会システムを実現していく事が私の夢であり希望となっています。

### — どんなところに訪問理美容の可能性を感じますか？

訪問理美容活動をしていると高齢の方の中には時々、「お化粧がめんどくさい」とか、「美容は必要が無い」と言われる方がいますが、一度訪問理美容を利用すると、意外にもそのような方々が、「綺麗になったねえ！」と言ってお互いに笑顔を交わしています。また、杖をついている高齢の方に着物を着て頂いたところ、背筋をピンと伸ばして歩いていく光景を目の当たりにしました。どんなに年齢を重ねたとしても、髪を綺麗にし、着物を着ると、女性の中にある独特の美意識や感性が呼び起こされるのだと思います。実際に医学の分野でも、美容による認知症予防を研究して成果を出しているという事例もあり、高齢者の心身を健やかに保ち、ひいては地域社会を元気にする可能性が、訪問理美容活動にはあると思っています。

### — これからの展望をお聞かせ下さい。

訪問理美容活動に参加してくれる理美容師さんが増えてきたことが弾みになっています。今後は、このような地域の理美容師さん達と一緒に、講習会等を通して連携を取りながら、訪問理美容師の育成とネットワークの構築に尽力したいと思います。

# べっぴんしゃんとは？

瀬戸内海の訪問理美容・べっぴんしゃんは、訪問理美容を通して、地域の方々の「キレイになりたい!」という想いと、理美容師の「美容技術で地域に貢献したい!」という想いをつなぐ活動です。



地域住民の課題

地域に理美容室が無くなった。  
高齢になり、街に髪を切りに行けない。  
いくつになってもお洒落したい。

子育てなどのため美容室で働けない。  
美容技術で地域貢献したいけれど、  
ひとりではむずかしい。



理美容師の課題

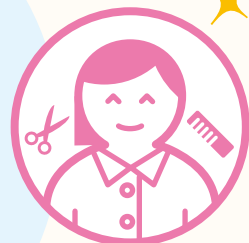
両者をマッチング

自分の技術で  
喜んでもらえてうれしい!



地域住民

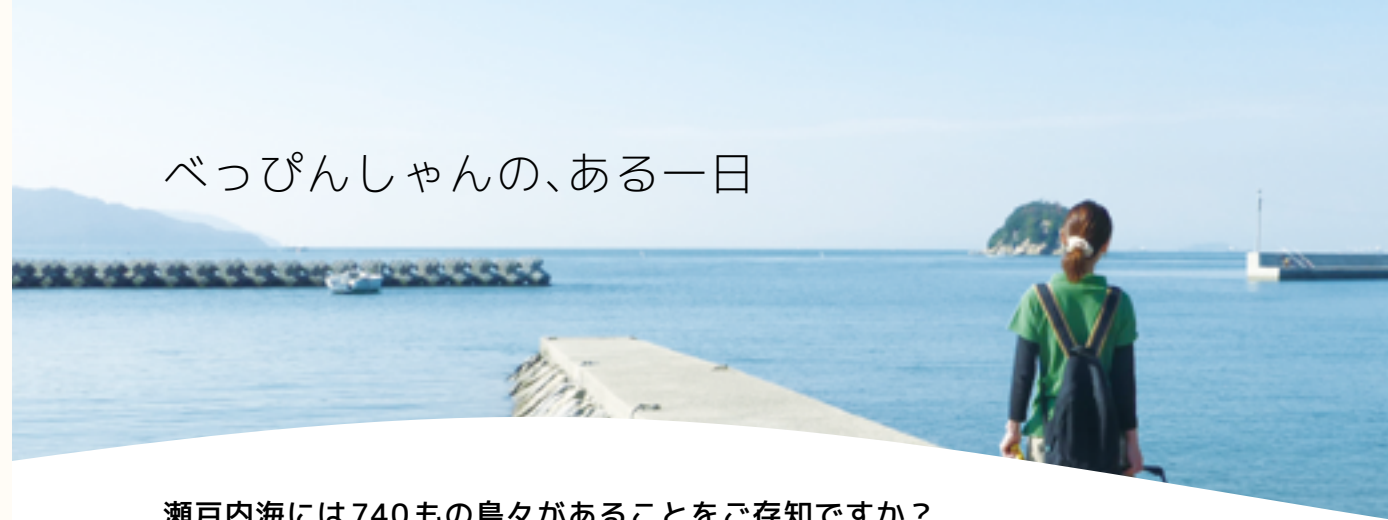
瀬戸内海の訪問理美容  
べっぴんしゃん



理美容師

キレイになれてうれしい!

# べっぴんしゃんの、ある一日



## 瀬戸内海には740もの島々があることをご存知ですか？

その中には無人島も多くありますが、有人の島だけでも152島あります。島には島の暮らしがあります。瀬戸内海の島々の交通手段は船が基本で、多くの住人にとってはフェリーが主な移動手段です。定期船が島々と街を結んでいますので、島での暮らしはこの定期船に合わせて営まれています。現在私たちが訪問理美容の活動を実施しているのは、香川県6島、岡山県2島の8島で、理美容室の無い島を選んで出向いています。ほとんどの島で、はじめは住民の皆さんも島外からの訪問者に戸惑っている様子でしたが、一度体験して頂くとも喜んでくれます。ここでは、島の風景と合わせて、私たちの活動の様子をご紹介します。

### 香川県・志々島



香川県の志々島には、三豊市須田港から栗島を回る定期船のコースと宮ノ下から志々島を回るコースがあり、20分で行く事が出来ます。いずれも一日3回フェリーの着岸がありますが車では渡れません。徒歩で荷物を持って志々島の浮桟橋に着岸すると、ひょい!と岸に渡ります。

現在人口10数人の志々島ですが、以前は2,000人も住んでいて花の栽培が盛んだったそうです。花が咲くと三豊市からも島が花でピンクに染まる姿が見えた島の方が述懐していました。現在は島には空き家も多く産業もありません。島の伝統である祭りや伝承行事が無くなってしまったと島の人とは言います。





ひとりひとりとお話をしながら施術を行っていきます



花のある志々島の風景



六島の海



移動式のシャンプーセット

島には高齢者が多く、街まで美容に行くと帰りのフェリーに間に合わなければ帰れませんし、パーマや毛染めは時間がかかるので出来ません、と高齢のご婦人が語っていました。

志々島では、住民のお世話をしてくださる寺下さんのご協力で、詫間町役場志々島出張所の「憩いの家」をお借りして訪問理美容の実施をしています。

憩いの家には美容設備がありませんので、畳に髪の毛が落ちないように、シートをしいてから椅子に腰かけていただいて美容をしています。

この日のお客さんは全部で2名。少ないですが、その分施術にゆっくりと時間を取ることができ、とても喜んでいただきました！



六島の風景



予約があればカラーやパーマの施術も行います

### ここがひと工夫! 島でのシャンプー



機材をリヤカーで運びます



### 岡山県・六島

岡山県の六島では公民館に努める三宅さんが、島の人達が喜ぶ活動なので、と引き受けてくれ、住民の方々に広報でお知らせをしてくれています。

人口60人程の小さな島ですが、毛染めを希望する方やカットの予約がいつも数人入ります。

笠岡港からフェリーで1時間ほどですが、波が高いと欠航してしまいますので、天候にはいつも注意を払っています。

通常、島の会場には、毛染めやパーマの為の設備がありませんので、移動式のシャンプー機を車に乗せて港まで行き、リヤカーに載せ替えてからフェリーに乗って島に運び入れています。

現在は、もっと軽量で移動が簡単な組み立て式のシャンプーセットを開発中です。



組み立て式のシャンプーセット



## 地域住民の声

定期的に島に来て頂くようになってから便利になりました。訪問理美容開催の島の放送が聞こえて今日も来ました。以前は夫の車で児島まで買い物のついでに行っていましたが、ついで美容は不便でした。踊りをしているので定期的に来て頂いているのはありがたいです。

船に乗って美容室に行くことを思うと、ついおっくうになって「まあいいか、次にしよう」と思ったりしますが、定期的に島に訪問理美容が来てくれると「それなら行ってみようか」と美容に関心が増してくるし、さっぱりしていれると毎日が楽しいです。

認知症の母は船の往復だけでも大変です。島に美容師さんが来てくれるのでついでに染めてもらっています。島で出来ると安心です。

高齢化で人口が減少している島に来て頂いてありがたいと思っています。島のご婦人もいつもならバスを乗り換えて美容室まで行く手間が減って喜んでます。街の美容室まで行ってパーマをかけると一日かかります。冬の寒い時は大変です。これからも続けて来て頂けるように工夫して頑張ってください！

毎月来ていただいてありがたいと思っています。島の皆と会える機会が出来て楽しいです。

## 理美容師の声

最近地域で訪問理美容活動を始めたばかりですが、とても大事な活動だと思っています。島に訪問理美容に行かせて頂いて島の高齢者の方がこの日をとても大切にしている事がよく分かりました。訪問理美容のある日はみなさん身なりを整えて、とても楽しそうに元気になっている姿が印象的でした。

母親が入院していた頃に「シャンプーしてほしい！」と言っていたことを思い出します。女性にとって洗髪やヘアスタイルは日常生活の快・不快を決めてしまいます。この活動に参加して、ある島のおばあちゃんの庭で美容をしていた風景をみて、驚きと感動でいっぱいでした。島では高齢者に大変歓迎されて感謝して頂き恐縮しました。

訪問理美容活動を通して、私たちの美容の仕事は子供の時から老人になってまでも人生の節目節目にまで携わっているととても大切な活動だと思いました。介護で美容室に来られなくなっても、地域に美容室が無くなっても、私たちが訪問して、いつまでも、綺麗に元気にいて頂く事が出来るお手伝いをいつまでもさせて頂きたいと思っています。

美容師はカットだけでなく、パーマや毛染めや様々な技術を持っています。島では設備が無かったりして実施出来ないところや、交通の不便な地域もありますが、これからも様々な工夫をして地域の方にもっと喜んでいただけるように頑張りたいと思っています。

# 島から島へ 出張美容院



## 瀬戸内・与島に開店 広がる活動

瀬戸内海を航行する島巡り「出張美容院」の活動が、瀬戸内海を航行する島巡り「出張美容院」の活動が、瀬戸内海を航行する島巡り「出張美容院」の活動が...



「サロンドよしま」で髪も整えてもらい、喜ぶ利用者

## 利用助成の自治体も

自治体は訪問美容に力を入れており、利用助成の自治体も増えてきた。高松市や高松市議会、山形県や山形県議会、山形県や山形県議会、山形県や山形県議会、山形県や山形県議会、山形県や山形県議会...

NHK 四国羅針盤

朝日新聞



### 社会の声

理美容の精神とNPOとしてのボランティアスピリッツ、そして収益を上げることで継続性を推し量るとい難い活動をされている事に心より敬意を感じます。

— ひとことワークス 池澤良子さん

島に訪問理美容に来て頂いている事は、島から出かけて半日かけて髪のお手入れと、言う事が難しい方にとっては、本当にありがたいことではないかと思えます。

島の住民の方々は船でわざわざ美容に出かけても、帰りの船便の時間が気になって落ちて毛染めやパーマなどのおしゃれが楽しめなかった事でしょう。

この様な不安が解消されたことや、島の皆さんがサロンに集まってきて交流の場が出来たこと、そして島外からの美容師さんなどに島の事を知って頂いたことは嬉しい事です。

美容師さんが来て頂いている事で利用者さんも新しい髪形に挑戦しようとする方も増えたのではないのでしょうか？島の皆さんにとっては楽しみとなっています。

— NPO法人 かさおか島づくり海社 東馬場 洋さん

# 島の女性におしゃれをお届け

**民家改修の美容室**

島の人材育成のための研修にも使われて、四国新聞にも掲載された美容師が、島内に住む美容師が、島内に住む美容師が...

**与島に誕生**

現在、香川のスタッフは30代から50代までの女性4人、土曜日を中心に、週替わりで本島丸島市や志々丸三豊市など各島に船で出向いて、島民に髪を切るというサービスを提供している。島民に髪を切るというサービスを提供している。

**訪問理美容拠点へ**

高齢者のための拠点、このため、島民が民家を改装して全身鏡やシャンプー台を備えた「出張美容院」を開業した。サロンに髪を切るというサービスを提供している。



美容師の「出張美容院」は、島民が民家を改装して全身鏡やシャンプー台を備えた「出張美容院」を開業した。サロンに髪を切るというサービスを提供している。

四国新聞





## 訪問理美容講習会

平成 27 年度には、「美容技術で地域貢献をしたい!」という理美容師の仲間の輪を広げていくことを目的として、日本財団の助成を得ながら「訪問理美容講習会」を実施しました。

現在の日本は益々高齢化が加速化し、離島や中山間地域などの過疎地域は消滅の危機とまで言われていますが、「過疎になっても、高齢になっても、生まれ育ったこの里で暮らしたい。」と願う地域住民の方々がいる限り、私たちはその方々がいつまでもお元気で暮らすためのお手伝いをしたいと思っています。

そのために、これからの訪問理美容活動の目標として以下の3つを挙げています。

- 1 持続的な地域活動の為の仲間づくり
- 2 訪問理美容を行う人材・リーダーの育成
- 3 離島・中山間過疎地域での交流活動の推進

講習会を通して、これからの人材育成や訪問理美容にたずさわる理美容師同士のネットワークづくりに取り組み、離島や中山間地域などの過疎地域の高齢者の方々が元気に暮らしていけるように、そして、女性が生涯女性らしく生きていけることを尊びながら、持続性のある活動をしていきたいと考えています。

### 講習会の内容



#### 第1回 開講式

ファシリテーターに池澤良子さんをお招きし、「ミーティング・ファシリテーション」の会議術の中から、お互いの訪問理美容の目指すビジョンの定め方やアイデアの整理方法を学び、お互いの未来を語る機会を設けました。



#### 第2回 車いすの方への着物の着付

障害があるからといって着物が着れないという事はありません。着物に少しの工夫をして、車いすを使用している方の障害のある身体の部分に手を添えると着物が着れるようになります、と講師から講習を受けました。車いすの花嫁に着物を着せてあげる事も美容師さんの大切な仕事です。



#### 第3回 車いすの方へのカット方法

通常のカットとは異なり、身体に負担の掛けないカット技術を要求されます。



#### 第5回 起業を学ぶ(個人とチーム)

地域での訪問理美容の運営をどのように考えるか?をテーマに、課題と解決に向けて意見を出し合いました。このワークショップの後にはご自身の店をオープンした方や、NPO法人を設立させた方がいました。



#### 第7回 在宅訪問理美容&修了式

訪問理美容の基本的な内容を詳しく説明して、今後の地域活動の基本となっていきます。又終了後各人に修了証書が授与されました。



#### 第4回 エンジェルメイク

1級メイクセラピストの講師からエンジェルメイク(亡くなった方へのメイク)の基本から学習しました。



#### 第6回 ベッドでの理美容技術

老人介護施設等に入所している方や、自宅で寝たきりの方への施術を学びました。訪問理美容には欠かせない技術です。

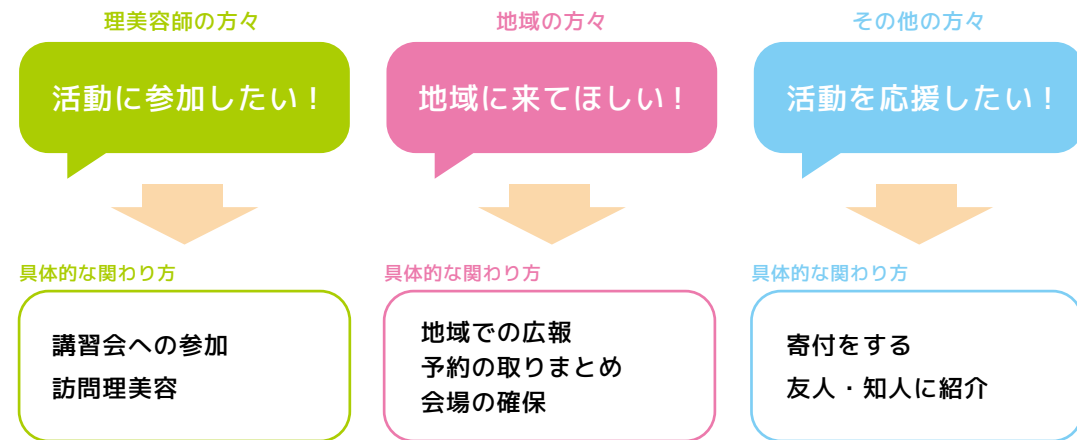


#### 第8回 離島訪問理美容・実習編

岡山県笠岡市高島に実習に行きました。人口 60 人の島には美容室も理容室もありません。フェリーの待合所をお借りしてパーマや染めを行いました。

## べっぴんしゃんの仲間になるには？

私たちの活動には、様々な関わり方の仲間が欠かせません。



ご興味がある方は、ぜひ一度事務局までお問い合わせください！

与島にある空き家を活かした「訪問理美容研修センター」



## これまでお世話になった皆さん

香川県坂出市教育委員会  
香川県坂出市与島自治会長さん、島の皆さん  
香川県坂出市岩黒島自治会長さん、島の皆さん  
香川県坂出市櫃石島自治会長さん、島の皆さん  
香川県三豊市志々島のみなさん  
香川県丸亀市本島福田の皆さん  
香川県丸亀市牛島の皆さん  
NPO 法人かさおか島づくり海社の皆さん  
笠岡市高島自治会長さん、島の皆さん  
笠岡市六島自治会長さん、島の皆さん  
岡山市犬島自治会長さん、島の皆さん  
岡山県総合福祉・ボランティア・NPOの皆さん

岡山県社会福祉協議会さん  
NPO 法人 日本理美容福祉協会さん  
NPO 法人 日本理美容福祉協会 教育責任者さん  
訪問理美容講習会講師の皆さん  
訪問理美容講習会香川県事務局の皆さん  
訪問理美容香川県美容師の皆さん  
訪問理美容岡山県美容師の皆さん  
べっぴんちゃん委員会の皆さん

BS フジ  
四国新聞  
朝日新聞  
NHK 松山放送局

## 組織情報

NPO法人  
訪問理美容ネットワークゆうゆう

理事長 西岡 貢

〒781-8104  
高知県高知市高須2丁目6-4  
電話：088-861-3644  
0120-294-340（フリーダイヤル）  
FAX：088-861-3646  
メール：npouu@npouu.net  
ウェブサイト：http://www.npouu.net

拠点美容室

高知県高知市高須「SCサロンゆうゆう」  
香川県坂出市与島「訪問理美容研修センター」  
愛媛県今治市「ふくし理美容研修センター」



「べっぴんちゃん」は日本財団の  
助成を受けて実施しています。



島の民家を改修して美容室に！（与島の訪問理美容研修センター）



美容師のみなさんとともに



発行：NPO法人 訪問理美容ネットワークゆうゆう



この冊子は、日本財団の助成を受けて制作しています。